

歎異抄を読む

今、念仏に生きる意味を問う

たなか よしみ

田中好三著

▼46判・並製カバー・166頁・定価 一、四三〇円

2024年9月刊行



国語の教員として長年勤めてきた著者が、人間の本質を鋭く見抜いた親鸞に惹かれ、古典文学の枠を超えた『歎異抄』の魅力を伝える。

【目次】

はじめに

- 1 親鸞とその時代
延暦寺出身／親鸞という人／時代背景
- 2 親鸞聖人の教えを正しく伝えたい(序文)
親鸞に導かれた唯円／浄土門／お経とは／阿弥陀仏／本願と他力
- 3 すべての人を即座に救う阿弥陀さま(第一条)
誓願不思議／念仏と南無／摂取不捨／平等なほからい／正定聚
- 4 極楽か地獄かは私の知るところではない(第二条)
命がけの東国の信者たち／よき人の仰せ／親鸞の思い
- 5 煩惱まみれを自覚した悪人こそ救われる(第三条)
善人とは、悪人とは／煩惱／悪人正機／親鸞の立ち位置
- 6 人間の慈悲には限界がある(第四条)
愛と慈悲／聖道門と浄土門／親鸞の慈悲／往相回向と還相回向
- 7 父母の供養のための念仏はしない(第五条)
追善供養の手段としない／輪廻転生と生きる意味
- 8 師と仰ぐ人はいるが弟子は一人も持っていない(第六条)
弟子一人も持たず／仏のものと平等／縁によるつながり
- 9 念仏の道は安心安全に開かれている(第七条)
無碍の一道／神仏習合／他力念仏／無碍光如来
- 10 念仏は阿弥陀仏の喚び声(第八条)
非行非善／阿弥陀仏の喚び声
- 11 煩惱があるからこそ救われる(第九条)
念仏しても喜びが湧かない／急いで浄土往生を求めないのはなぜ

12 他力とは「はからわれないこと」である(第十条)
「無義」をもって「義」とす／親鸞亡き後の数々の異義

13 唯円による異義嘆の数々(第十一条～第十八条)
誓願不思議か名号不思議か(第十一条)／多様性・寛容の精神(第十二条)／宿業とは(第十三条)／感謝の念仏(第十四条)／即身成仏は可能(第十五条)／回心は一回きりである(第十六条)／辺地往生も最後には真実の浄土へ(第十七条)／布施は信心あつてこそ(第十八条)

14 念仏こそ浄土往生への正しい道である(後序)
法然の信心も親鸞の信心も同じ／聖教を手本とせよ／親鸞一人がためなりけり／二種深信／善悪の二つ存知せず／涙にくれて筆をとる
あとがき
参考文献

◆著者略歴

田中好三(たなか よしみ)

一九四三年、福井県若狭町生まれ。京都精華高校、京都府立宮津高校、木津高校、東稜高校、西宇治高校の教諭の後、洛西高校、北稜高校、桂高校の教頭を経て、北稜高校、朱雀高校の校長、聖パウロ学園教頭、副校長を歴任。二〇一五年、社会人学生として龍谷大学大学院(真宗学)修士課程修了。
著書に『日本人のための基礎日本語』、『賢い人の日本語力』(共に鳥影社)、『こころの教育と生き方講話集』(共著、ジュン・ファースト出版部)、『親鸞と浄土仏教の基礎的研究』(共著、永田文昌堂)。

注文書	
(書店印)	
様	冊
ご担当	
田中好三著	
法藏館	
定価 一、四三〇円	
歎異抄を読む	
—今、念仏に生きる意味を問う—	
ISBN:978-4-8318-8806-8 C0015	
お電話	お名前
住所	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

真宗